

所管課		環境共生部環境保全課												
施策の大綱	まちづくりの目標(章)			施策分野(節)			施 策							
	第1章 環境調和都市			01 自然環境			01 豊かな自然環境を守る							
事業：自然保護推進事業													整理番号	1362
目的	市民が環境と調和し、健康で文化的、安全で健康かつこころ豊かな生活を送れる環境とのふれあい・共生を実現する。													
目標	自然環境保護の啓発													
事業費・財源	事業費（決算額）（千円）		250	コスト情報・評価	総コスト（千円）		3,070	総合評価 B 評価理由	妥当性		A			
	財源内訳	一般財源	250		内訳	事業費	250		効率性		A			
		国府支出金	0			人件費	2,820		有効性		B			
		地方債	0			公債費	0		自然保護意識の啓発に大いに寄与しており、少ない経費で効果を上げている。					
		その他特定財源	0			一人あたり（円）	27							
						世帯あたり（円）	65							
	貢献度	施策に対する事業貢献度	A		根拠	自然保護展や市民参加事業により、市民の自然環境への理解と啓発に大いに貢献している。								
今後の方向性	自然保護展や市民参加事業の実施方法や新しい取組みを工夫し、新たな活動参加者を開拓する。													

事業 優先順位		1	細事業：自然保護推進事業				整理号		01	
目的		本市の自然環境を将来にわたって保全し、自然保護意識の高揚を図るため。								
目標		自然環境保護の啓発								
事業 実施主体		直営	事業開始 年	昭和52年度	根拠 法令					
事業費・財源	事業費 財源内訳			平成24年度	比較	コスト 情報・従事 職員数 参考			平成24年度	比較
		事業費（決算額）（千円）		250			総コスト（千円）		3,070	
		一般財源		250			事業費		250	
		国府支出金		0			人件費		2,820	
		地方債		0			公債費		0	
		その他特定財源		0			一人あたり（円）		27	
				0			世帯あたり（円）		65	
				0			職員数（人）		0.30	
				0			再任用職員数（人）		0.20	
		今後の方向性		自然保護展や市民参加事業の実施方法や新しい取組みを工夫し、新たな活動参加者を開拓する。						
評価	妥当性	効率性	有効性	対象者	河内長野市民					
	A	A	B							

事業：自然保護推進事業

市民生活と自然環境が調和し、健康で文化的かつ心豊かな生活を送ることができるような社会の実現に向け、自然環境の保護や生物多様性の確保に関する施策を展開する。

細事業：自然保護推進事業

1. 自然環境保護の啓発

自然豊かな本市の魅力を発見・再認識するとともに、その必要性を理解し、情報発信していくために、地域住民の協力のもと啓発事業を実施した。

(1) 自然保護推進事業

身近な自然環境を見つめなおすことで、市民の環境に対する意識の高揚とその理解を深めるため、啓発事業を次のとおり実施した。

① 親と子のふれあい自然学習会

身近にある自然に触れることによって、環境に対する豊かな感受性を育て、自然と人間社会の調和のとれた地球環境について理解を深めてもらうために実施した。

実施日：平成24年8月9日

場所：石川滝畑出合橋

参加者数：198名

内容：水生生物観察会



② 市民参加事業

河内長野野鳥の会、河内長野食草・薬草の会、河内長野水生生物観察会及び河内長野郷土を知ろう会が指導にあたり、市民参加の観察会などを行い、身近な環境の保全について啓発を行った。

ア. 郷土の研究

河内長野駅前～極楽寺～辻野代官屋敷跡～鳴滝～黄金塚～長野公園～波切不動～蓮光寺～長野神社までのコースを史跡の説明付きでハイキングを行った。

イ. 野鳥の観察

寺ヶ池公園においてバードウォッチングを行った。

ウ. 植物の研究

市内で採取した野草を使った料理教室を開催した。

エ. 水生生物の観察

流谷地区河原の前で水生生物の観察を行った。

③ 自然保護展

市内の恵まれた自然環境の調査結果を展示して多くの人に見ていただき、身近な自然環境の保全の必要性を認識してもらう機会を提供した。

実施日：平成24年11月3日及び11月4日

場所：ノバティホール

内容：野鳥、食草薬草、史跡及び水生生物などの写真や実物の展示、パンフレットの配布